

平成30年度
岩手県立種市高等学校第1回学校評議員会 記録

期 日 平成30年7月17日(金) 16:30~17:10
場 所 本校 会議室
出席者 学校評議員 A氏(教育関係者)
B氏(地域関係者)
C氏(地域関係者)
D氏(地域関係者)
学校職員 校長、副校長、事務長、総務主任、教務主任、生徒指導主事
進路指導主事、保健主事、海洋開発科主任、各学年主任
総務部員

1 開 会

2 校長あいさつ

3 出席者あいさつ

4 学校概況説明

- (1) 平成30年度学校経営計画(校長より)
- (2) 平成29年度学校状況の報告(副校長より)
- (3) 平成29年度進路状況(進路指導主事より)
- (4) 平成30年度生徒指導年間計画及び部活動の主な大会結果(生徒指導主事より)

5 質疑【評：学校評議員、○：本校職員】

- (1) 評：情報モラル講座の内容を知りたい。
○：高校入学時にスマートフォンを購入する生徒が多いことから、入学説明会で生徒と保護者向けに、入学後は生徒向けに、計2回実施している。内容は、保護者が知っておくべき事項、SNS上での詐欺や誹謗中傷等について。講師は通信事業者に依頼している。
評：中学校では、21時以降はスマートフォンの電源を切るように指導している。中学生にスマートフォンを所持させることに対する懸念の声がある一方で、子どもにスマートフォンを預けたまま、という状態もある。
- (2) 評：意見であるが、都市部ではスマートフォンを所持することが小学生でも当然になっている。これからも継続して講習会を企画してほしい。

- (3) 評：学生寮の生徒の様子について教えてほしい。
○：現在9名が入寮している。全てレスリング部の生徒で、生徒指導上の問題もない。食事も充実している。
- (4) 評：寮に空調設備は完備してあるのか。定員は何名か。
○：冷暖房完備である。定員は18名。
- (5) 評：野球部の洋野連合はいつから連合チームになったのか。出来れば単独チームで出場してほしい。その方が応援もしやすい。
○：今年の春から連合チームで出場。今後の見通しとしては、大野高校も本校も部員確保は難しい。場合によっては、久慈工業高校や葛巻高校などとの連合チームを検討しなければならない。
○：地元中学校の野球部から生徒が入学することで単独チームが可能になるかもしれない。

6 提言

- A氏：町内からの入学率が25%と低く申し訳ない。大学等の上級学校への進学希望者は八戸・久慈方面の高校に進学するのが現状。種市高校を希望する生徒は、海洋開発科やレスリング部を希望する生徒。普通科の特色が弱いと感じる。少人数に分けた学習指導など、子どもたちのニーズに合ったコースを設定してほしい。
- B氏：外部から、種市高校の生徒は素晴らしいという声が聞こえる。これからもそのような人材育成を続けてほしい。
- C氏：特になし。
- D氏：種市高校のPR活動を活発化し、地域の行事との関わりを深めながら、更なる定員の充足に努めてほしい。

校長：情報モラル講座の話題に関して。スマートフォンの所持について、親子で約束事を決めないのは日本のみ。選挙権を与えられる年齢が引き下げられ、成人年齢も今後引き下げられる昨今、本校としても情勢を見極めながら人材育成を勧めていきたい。部活動については、どの部でも部員数が少ないため活動に制約を受けている。普通科の機能は、様々な学問を広く学ぶこと。今後、特色を作っていきたい。

7 その他

8 閉会